平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １２０ ※記入不要	提案機関名	ＪＡあしがら

要望問題　しそ葉の病害中対策について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

しそ葉はマイナー作物のため、ヨトウムシ、ハムシ等の対策のための、登録のある農薬が少なく、農薬の登録促進をお願いしたい。
※小さい初期に被害にあっては、最後まで収穫量がアップしない。（収入減となる）
また、しそ葉につくメイガが、天敵に寄生されることにより固くなり、商品に混入することで問題になっている。天敵の防除ができる農薬についても検討していただきたい。
また、土壌消毒時期が春先で地温が低いため、効果を高める方法と、２月～３月下旬頃使用できる消毒の開発を検討願いたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
農薬残留確認調査事業
中山間地域特産農産物等生産支援対策事業

対応の内容等
ハスモンヨトウ対策としてスピノサド水和剤の試験を行っていますが、平成 15 年度の分析結果で作物への農薬残留が多いため登録には至っていません。
ヨトウ、ハスモンヨトウへは、野菜類登録の農薬も含め防除効果の高い農薬が多くありますので、効果的な防除を行ってください。
天敵に対する農薬の登録は難しいと思われます。
土壌病害に対するクロルピクリン剤の使用は、栽培終了直後の秋期での使用を検討してみてください。
また、青枯病以外でしたら、臭いがあまり気にならないダゾメット剤等の利用も効果的です。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考
具体的な対象農薬がないとのことなので、解決予定は未定です。